

旭労災病院ニュース

病院情報誌

第 121 号

平成 27 年 12 月 1 日発行

発行所 : 旭労災病院

〒488-8885

尾張旭市平字甲北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

全国労災病院外科共同研究の結果について

外科部長 小川 敦司



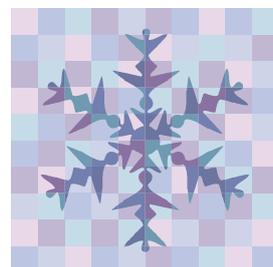
今回は前回ご報告した全国労災病院外科共同研究の結果についてご報告させていただきます。

【対象と方法】全国の労災病院外科における就労年齢（18～70 歳）の最終診断が癒着性、絞扼性イレウスの症例を対象とした。術前診断、治療方法及び期間等についてアンケート調査を行った。

【結果】保存的治療 211 例、手術症例 33 例が集計された。保存的治療で改善した群と保存的治療から手術治療に移行した群の平均治療期間はそれぞれ 8.3 日と 18.3 日であった。また手術群における非絞扼性と絞扼性群の術前検査では、臨床症状、来院時血液検査、腹部レントゲン検査では有意差を認めず、腹水の存在と造影 CT における造影異常に差を認めた。逆に腹水症例について検討すると絞扼性イレウスは 51.2%、癒着性イレウスは 43.9%であった。保存的治療で改善せず手術に移行した群の減圧チューブ 1 日排液量は平均 800ml 以上で継続していたが、保存的治療成功群は減圧 3～4 日で減少する傾向を認めた

【まとめ】腹水を認める症例のうち、絞扼性イレウスは約半数であった。イレウス管ドレナージ量は保存的治療成功群では減圧 3、4 日目までに排液量が減少する傾向を認め、この時期に排液量を基準に治療方針を立てることにより治療期間短縮の可能性が示唆された。

以上の結果を今後の臨床の場における早期診断と治療期間の短縮に生かしていきたいと考えております。



ペースメーカー遠隔モニター機能とその活用について

循環器科部長 竹政 啓子



最近の研究により、ペースメーカー患者のおよそ 37%に無症候性の心房細動(AF)を発症することが確認されました。また、ASSERT Trial ではペースメーカーおよび ICD 植込み患者において 6 分以上続く AF 群は、AF の既往がない群に比べて 2.5 倍の脳卒中リスクがあることが発表されており、AF の早期発見の重要性が認識され始めています。

現在のペースメーカーはペーシング閾値やリード抵抗値・電池残量などこれまで外来で行ってきた種々の検査を自動的にを行い、ペーシング出力の調整や異常時のアラートを発する機能が内蔵されています。これらの自動診断結果や不整脈情報は、今までペースメーカー本体のメモリーに記録されるだけでしたが、近年、患者自宅に設置した無線端末とペースメーカー本体で定期的な通信を行い、これらのデータをサーバーに送り、重大な異常はメールでアラートを送ることができる遠隔モニター機能が提供されるようになってきています。最近の研究では遠隔モニター機能の使用によって、死亡リスクが減少するという臨床的な効果も証明されつつあります。従ってペースメーカーの診断機能と遠隔モニター機能を効果的に使用することによって、医師も患者自身も発見しにくい無症候性心房細動を早期に発見し、適切な治療選択が可能になります。

無症候性心房細動の診断はペースメーカーに保存された AT/AF エピソード(例：心房 rate>175bpm かつ 20 秒以上持続したもの)の持続時間や回数を確認することで行います。最近の報告では 1)CHADS2 スコアが 1,2 点では、24 時間以上の AT/AF エピソードが 1 つでも記録された症例、2)CHADS2 スコア 3 点以上なら、6 分以上の AT/AF エピソードが複数記録されていれば、すぐに抗凝固療法を開始すべきと述べられています。当院でも CHADS2 スコアを参考に、ほぼ同様な基準で抗凝固療法の開始を検討するようにはしておりますので、投薬が必要と判断した際には地域の先生方をお願いをすることもありますが、よろしくご協力をお願いします。

なお、現段階では全てのペースメーカー患者に遠隔モニター機能がついているわけではありませんので、ご不明な点がございましたらご連絡ください。

土曜日のCT検査が可能になりました

平素は大変お世話になっております。

このたび、平成27年12月5日（土）からCT検査の単純撮影のみ、土曜日（祝日除く）の撮影が可能になりました。平日検査の難しい患者様の、ご紹介にご利用いただければ幸いに存じます。

<検査お申込み>

予約時間：土曜日 AM8：00（1枠）、PM5：00（2枠）

予約方法：病診連携室へお電話または、FAX で前営業日の PM12：00 までにご依頼ください。

患者様の基本情報、健康保険証のコピー、紹介状を事前に FAX をお願いします。

検査当日：当日は紹介状、予約票等持参し、救急受付窓口にお越しください。

検査結果：1週間以内に紹介元医療機関へ CD-R は郵送、読影レポートは FAX にてご報告させていただきます。

キャンセル：検査予約時間の1時間前までにお電話にてご連絡ください。

ご質問等ございましたら、病診連携室までお問い合わせください。

年末年始休診のお知らせ

<年末年始休診期間>

平成27年12月29日（火）～ 平成28年1月3日（日）

なお、救急外来につきましては平常どおり対応を行っておりますので、内科、外科系当直ホットラインをご利用ください。何かとご不便をおかけしますが、よろしくご配慮のことお願い申し上げます。